

Cisco CallManager 3.0(1) DNS 設定上の問題

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco CallManager 3.0\(1\) の設定に関する問題](#)

[Cisco Unified Communications Manager 5.x/6.x/7.x における DNS サーバおよびドメイン名の変更](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ドメイン ネーム システム (DNS) をインストールするための推奨方法および DNS 設定に関連している Cisco CallManager リリース 3.0(1) の既知の注意事項について説明します。また、Cisco Unified Communications Manager 7.0 の DNS サーバおよびドメイン名を変更するために必要なコマンドについても説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco CallManager 3.0(1) および Cisco Unified Communications Manager 7.0.2 に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

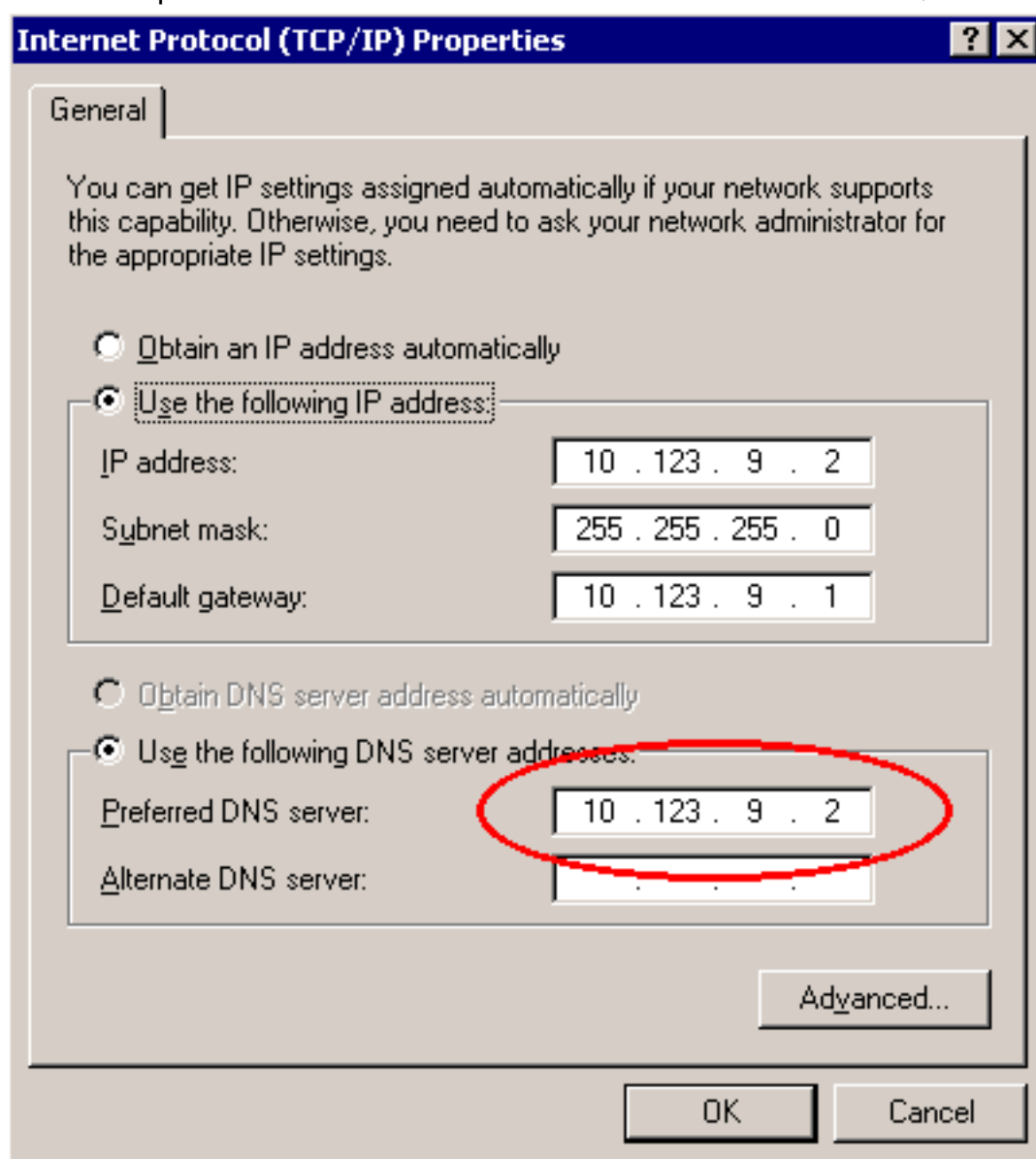
[Cisco CallManager 3.0\(1\) の設定に関する問題](#)

インストールプロセス中、DNS での Structured Query Language (SQL) への依存のため、Cisco CallManager を正常にインストールするには DNS が必要です。ただし、インストールが完了すると、特定の基準を満たしている限り、Cisco CallManager は DNS なしで実行できます。また DNS ありで実行する場合、すべての既知の注意事項が回避できるよう、警告を使用します。

これは Cisco CallManager 3.0(1) に関する既知の DNS 問題のリストです。

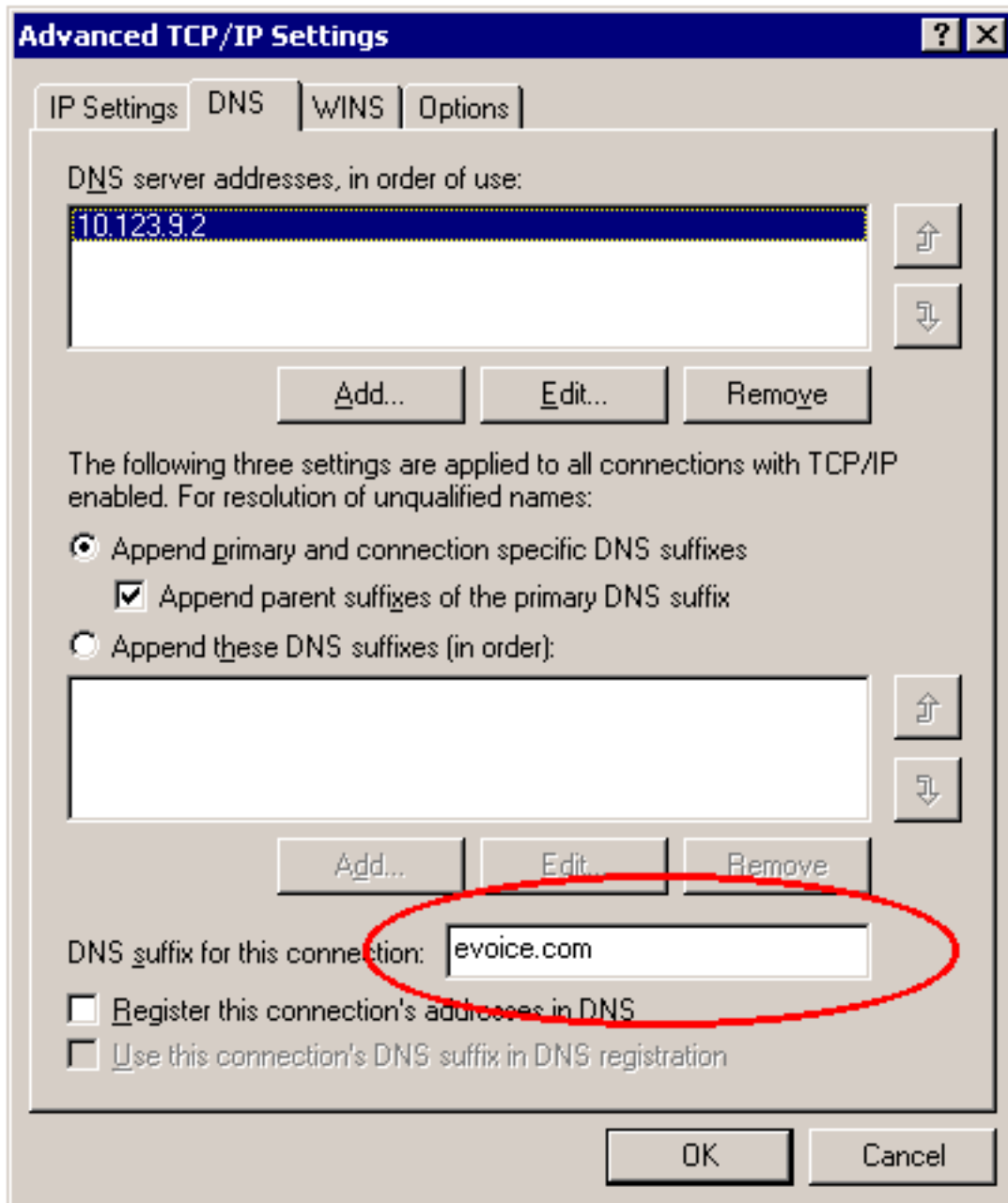
- [CSCdr64159 \(登録ユーザ専用\)](#) : ネットワーク Ident タブの DNS サフィックスが conf の場合、Cisco CallManager が起動しない
- [CSCdr43467 \(登録ユーザ専用\)](#) : Cisco CallManager が逆 DNS エントリに依存するため、クラスタ内のコールが失敗する
- [CSCdr66639 \(登録ユーザ専用\)](#) : Cisco CallManager が完全修飾ドメイン名で動作しない DNS を使用する場合、これをインストールする推奨方法は次のとおりです。

1. TCP/IP Properties コントロール パネルで DNS サーバを設定します。

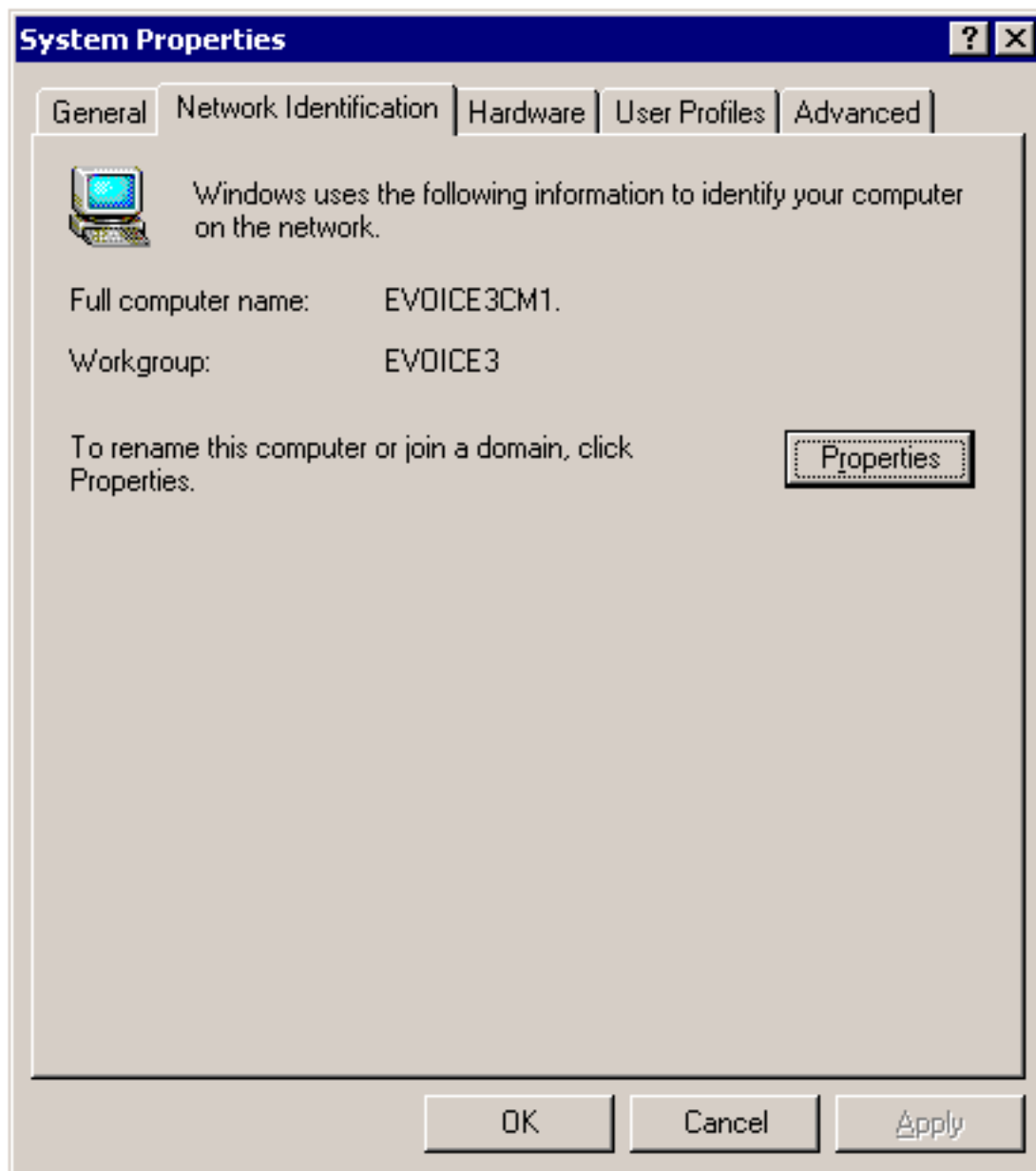


2. [Advanced] ボタンをクリックし、[DNS] タブをクリックします。入力した DNS サーバが [DNS server addresses, in order of use] フィールドに表示されていることを確認します。[Append primary and connection specific DNS suffixes] と [Append parent suffixes of the primary DNS suffix] オプションにチェックが付いていることを確認します。[DNS suffix for

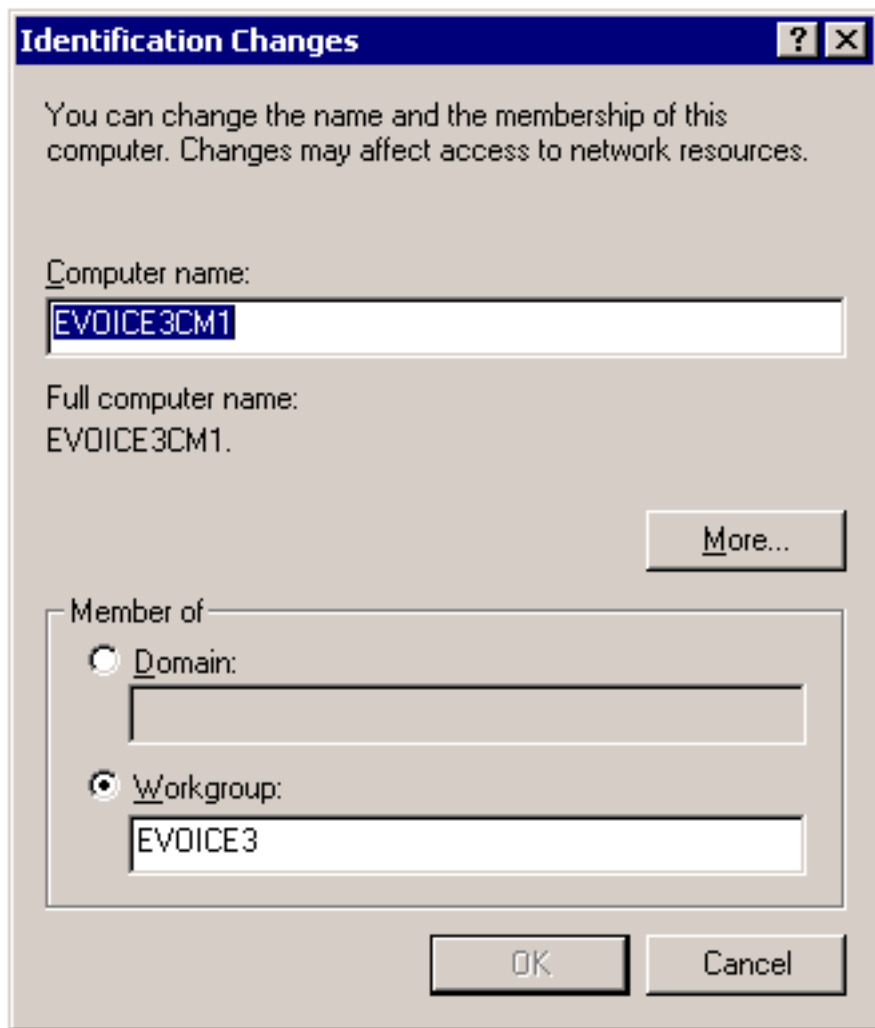
this connection] ボックスに、このマシンのサフィックスを入力します。最後に、[Register this connection's addresses in DNS] のチェックボックスをオフにします。



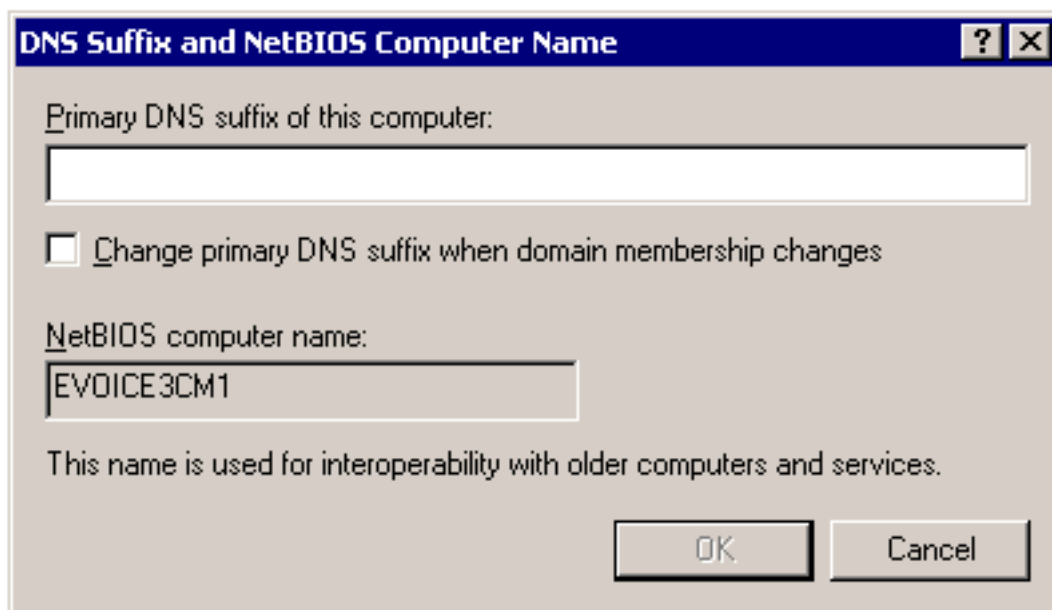
3. デスクトップの [My Computer] を右クリックし、[Properties] を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。



4. [Properties] ボタンをクリックします。このボックスの「コンピュータ名」が、このマシンのホスト名として DNS に設定したものと一致する必要があります。



5. [More] ボタンをクリックします。このダイアログで、[Primary DNS suffix of this computer] フィールドが空白で、[Change primary DNS suffix when domain membership changes] チェックボックスがオフになっていることを確認します。



6. コンピュータ名またはダイアログを変更した場合、コンピュータを再起動する必要があります。すべてのダイアログに [OK] と応答した後、再起動を求められます。
7. 対象の Cisco CallManager で、ホスト名を含む DNS サーバに、逆 DNS エントリのホスト エントリおよび PTR レコードの両方が含まれていることを確認します。注: この逆 DNS エントリがないと、Cisco CallManager のクラスタリングは機能しません。

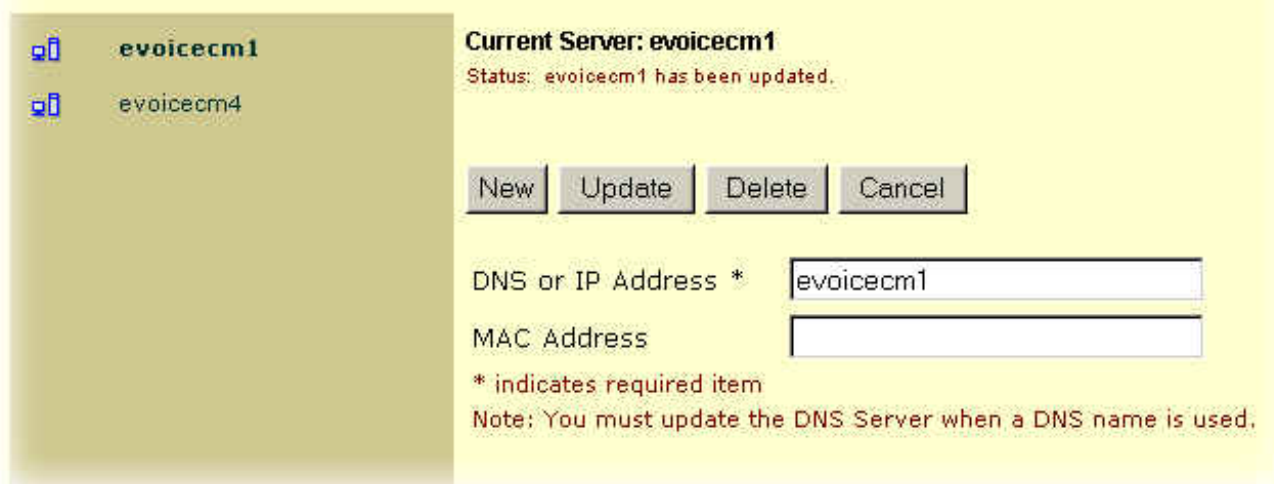
8. DNS を使用しない場合、サーバに設定されている DNS サーバがないよう、すべての DNS 設定ダイアログ ボックスが空であることを確認します。サーバに DNS サーバが含まれ、IP アドレスが Cisco CallManager 名として使用される場合、サーバは逆 DNS に依存します。
9. Cisco CallManager 管理者用 Web ページから、Cisco CallManager を設定するには、次の手順を実行します。[System] > [Server] メニューに移動します。



各サーバをクリックし、DNS ホスト名 (完全修飾ドメイン名ではなく) または IP アドレスのいずれかとして設定されていることを確認します。この例では、DNS ホスト名が使用されています。

Server Configuration

[Configure Cisco CallManager \(C\)](#)



[Cisco Unified Communications Manager 5.x/6.x/7.x における DNS サーバおよびドメイン名の変更](#)

DNS サーバは、ホスト名を IP アドレスに、または IP アドレスをホスト名に解決するデバイスを表します。DNS サーバがある場合は、インストール時に [Yes] を入力して DNS を有効にすることを推奨します。DNS を無効にすると、システムがドメイン名を解決する機能が制限されます。DNS サーバ名とドメイン名を変更するには、下記のコマンドを実行します。 -

```
set network dns primary <your primary dns IP address>
```

```
set network dns secondary <your secondary dns IP address>
```

```
set network domain <node.company.com>
```

注: 次の手順を実行する前にサーバのバックアップを取得し、ホスト名の変更後にクラスタを再起動することをお勧めします。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)